

# 2018 東北被災地支援 講演会

## 『福島から、今思う』

被災後 7 年が経過し被災地はどうなっているのでしょうか。

この度は、福島県いわき市・福島第一聖書バプテスト教会の佐藤彰先生を招いて講演会を開催いたします。

昨今現地報道が少なくなりました。被災されたあの日に何を思い、今どのように歩んでいるのか、被災地の復興や被災された方々の心の現状。原発事故による影響など、共に考える機会となり、これから必要とされている支援につながればと願っています。

《講師：佐藤 彰 牧師（福島第一聖書バプテスト教会）》

1957年山形市に生まれる。1982年4月、神学校卒業後、この教会に赴任。

2011年3月11日、東日本大震災に遭い、原発から5キロに位置する教会は閉鎖、教会員や地域の人たちとともに流浪の旅に出る。約700キロの旅を経て、2013年春、故郷の方向を向いて建つ翼の形をした教会堂を再建。その道のりは、国内外で取りあげられている。

著書：『くびわをはずしたパピ～パピの東日本大震災～』（自由国民社）『翼の教会』『流浪の教会』『順風よし、逆境もよし』（いのちのことば社）等。



日時：2018年3月3日（土）13：30 ～15：30

会場：カトリック甲府教会 サンタルチア講堂  
山梨県甲府市中央2-7-10

（甲府駅から徒歩10分）

※お車の方は乗り合わせでご協力下さい。

☆参加無料

問い合わせ先：090-8308-4812（山本）

主催：山梨地区カトリック教会

（東北被災地支援 こぴっとプロジェクト）